

# 好学尚武

## 練習試合の結果

19日（土）対細田学園高校

第1試合 2対9 敗退

第2試合 0対2 敗退

22日（火）対大宮東高校

第1試合 0対7 敗退

第2試合 9対12 敗退

23日（水）対市立太田高校

第1試合 4対4 引分

第2試合 2対1 勝利

通算成績 24勝 16敗 2分

## 春（の県大会抽選会）は・・・

県大会の抽選会が行われました。

皆さん経験すれば分かっていただけだと思いますが、自チームが出場していない（できない）大会の抽選会ほどつまらないものはない・・・抽選結果も「どうでもいいや」とやや投げやりな感じに・・・（役員としてそれではいけません。反省）。

来春は「どうでもういや」（この言葉自体どうでもよくなっている・・・）とならない県大会抽選会にしたいです。そのためには市高が（シード校を倒して）県大会に辿り着かなければならないのですが、私達の地区においてそれはなかなか高いハードルなのを部員達が分かっているか・・・

とにかく今は・・・選手の成長に期待します。

## ピンチはチャンス

固定観念を捨てる、新しいことに取り組む、秋大会を終えた今、私がすべきことはそんなことではないかと考えています。

野球における（監督の）固定観念とは、選手のポジションや打順、レギュラーや補欠を決めつける、そんなことだと思います。私達公立高校は、様々な取り組みの中から新たな発見を経て、戦うことのできるチームを目指さなければなりません（夏、勝ち上がる公立高校を見ていると、中学校時代、投手でなかった子が投げているケースが多いです。当然です。中学校の時点で良い投手は大抵推薦等で私立高校に進んでいますので・・・捕手に関しても同じかな、と）。新しい取り組みとは、逆打席で打ってみたい、新たなトレーニングを取り入れたりすることだと思います。

先日、そういった意味で絶好の機会がありました。文化祭を終えると、部内で感染症が広がってしまい、練習試合日に多くの選手がいないということが起きたのです。本来はピンチ、でもチャンスですよ。ほとんどのポジションをシャッフルして試合に臨みました（スタメンも打順も選手達に決めさせました。それは私の考えとはまったく違うもので、選手達の発想に驚かされました）。采配も選手に任せました。その大変さもよく分かってくれたと思います。

最終的に選手を伸ばす、チームを伸ばす、これに繋げることを忘れずに頑張っていきたいと思います。最後に1つだけ・・・チームスポーツ、いかなる理由でも「休む」ということは自分のそれまでのポジションを失う可能性があります。それは忘れないで欲しいと思います（丈夫で健康な身体もレギュラー獲得には不可欠だということ）。

さて・・・秋、大会に出られず（控えとして）悔しい思いをした子達がレギュラーを奪うか・・・部員同士の切磋琢磨を楽しみにしています。